

第78回日本臨床眼科学会

- 日 時** 2024年11月14日(木)～17日(日)
- 場 所** 国立京都国際会館(〒606-0001 京都市左京区岩倉大鷲町422)
ザ・プリンス京都宝ヶ池(〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町1092-2)
- 学会長** 外園千恵(京府医大)
- 副学会長** 柏井真理子(京都府眼科医会)
- プログラム委員長** 庄司信行(北里大)
- テーマ** 未来への貢献
- 主なプログラム** 特別講演
- (予定)** 「未定」日下俊次(近畿大)
「角膜の外科的治療の変遷と課題」島崎 潤(赤坂島崎眼科/東京歯科大)
- 招待講演
「未定」Felipe A Medeiros(Duke Eye Center/Duke University)
「予測科学としての臨床医学のフロンティア, トランスレーショナルリサーチとヘルスデータサイエンス～その原理と実践」福島雅典(京都大/LHS 研究所)
- シンポジウム
- ・再生医療・新時代における角膜移植の新戦略
 - ・「視点が広がる」涙道内視鏡診療
 - ・白内障同時手術のエビデンスと最新の知見
 - ・視機能障害検出法の進歩と課題
 - ・MIGS時代の緑内障手術選択
 - ・黄斑微細構造から視機能回復を考える硝子体手術
 - ・網膜硝子体診療の近未来像～その可能性と実現に向けた壁とは～
 - ・糖尿病網膜症 Beyond Anti-VEGF
 - ・超高齢化社会におけるぶどう膜炎診療
 - ・花粉症克服のための眼科医の挑戦
 - ・小児眼科のサイエンス
 - ・コンタクトレンズの進化:こんなことまで出来ます
 - ・視覚障害者に対するスポーツの可能性を探る!
 - ・新しい薬剤による眼科的副作用
 - ・眼窩疾患 update
 - ・臨床試験から実用化への道
 - ・未来を創るのは君だ!眼科トランスレーショナルリサーチ
 - ・加齢性疾患の老化研究最前線～臨床的アプローチと治療戦略
 - ・視覚難病の予後向上を目指して
 - ・こどもの目を守る―第3弾―
 - ・眼科臨床と人工知能研究
 - ・網膜関連疾患治療薬の現状と未来
- 病医院運営プログラム
- ・子どもの目を守るモノ・コト・ヒト～デジタル世代をケアする中で～
- ナーシングプログラム
- ・チーム医療とロービジョンケア
- 視能訓練士プログラム
- ・ICT教育における児童生徒の視機能管理
- その他
- 一般演題, インストラクションコース, コ・メディカルプログラム, 各種セミナー(モーニング,

主管校 ランチョン、イブニング、フェアウェル), 日本眼科医療機器協会併設器械展示会, 市民公開講座
京都府立医科大学眼科学教室
(〒 602-0841 京都市上京区河原町通広小路 上る 梶井町 465)
運営事務局 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン
(〒 541-0056 大阪市中央区久太郎町 2-1-25 JTB ビル 8 階)
Tel. 06-4964-8869 Fax. 06-4964-8804 E-mail : 78ringan@jtbcom.co.jp

第 129 回日本眼科学会総会

会 期 2025 年 4 月 17 日 (木) ~ 4 月 20 日 (日)
会 場 東京国際フォーラム (〒 100-0005 東京都千代田区丸の内 3-5-1)
学会長 福地健郎 (新潟大)
副学会長 吉澤豊久 (新潟県眼科医会)
プログラム委員長 石田 晋 (北海道大)
テーマ 科学は美しい Science has great beauty
主 催 公益財団法人日本眼科学会
主管校 新潟大学大学院医歯学総合研究科眼科学分野 (〒 951-8510 新潟市中央区旭町通 1-757)
事務局長 : 赤木忠道
プログラム 特別講演
1 : 外園千恵 (京都府立医科大学)
2 : 雑賀司珠也 (和歌山県立医科大学)
評議員指名講演「ライフスタイルと眼疾患」
中尾新太郎 (順天堂大学)
谷戸正樹 (島根大学)
高村佳弘 (福井大学)
招待講演 1「網膜変性疾患の遺伝子治療・再生, 加齢黄斑変性の疾患感受遺伝子」
Anand Swaroop, PhD (National Eye Institute)
招待講演 2「緑内障の視覚機能, QOL」
Pradeep Y. Ramulu, MD, PhD (Johns Hopkins University School of Medicine)
シンポジウム
＜総会長枠＞
科学は美しい 1・感覚のバイオイメーjing 最前線. 様々な生命現象を可視化する
科学は美しい 2・レジェンドと語る : 前眼部・角膜編
科学は美しい 3・レジェンドと語る : 網膜・硝子体編
科学は美しい 4・レジェンドと語る : 緑内障編
＜プログラム委員会枠＞
角結膜神経による恒常性維持とその障害に伴う病態メカニズム
老視メカニズムの解明と治療への新たな冒険
視野に障害をきたす特殊病態とそのメカニズムに迫る
網膜のトランスレーショナルリサーチ
網膜硝子体領域における次世代 OCT の可能性
眼感染症の病態に迫る !
アレルギー性結膜疾患の病態理解における新しい視点
成人との対比から考える小児眼科治療
神経眼科疾患を治す ! 生物学的製剤
近視研究アップデート ~ 乳幼児から大人まで ~

ドラッグデリバリーシステムがつくる眼科医療の未来
眼腫瘍の治療戦略アップデート
精密医療に向けたゲノム研究
知っておきたい！視覚障がい者のための最新視覚支援ツール
＜基礎研究セミナー＞
領域横断的な AI 活用の先端研究
＜戦略企画会議第四委員会枠＞
＜戦略企画会議第五委員会枠＞
＜社会保険会議枠＞
教育セミナー
難病研究の現状と克服に向けた未来展望
緑内障の病型別治療戦略
免許皆伝：網膜疾患のマルチモーダルイメージング
ぶどう膜炎における失明パターンを理解し回避しよう！
斜視の病因・病態の新しい理解
眼瞼診療の黄金律～どう治療すれば喜ばれるのか～
知っておくべき視覚系補装具と日常生活用具の基礎知識
当直医に欠かせない外眼部救急疾患のベーシックナレッジ
日本医療のイノベーション革命
専門医志向者トレーニングコース
International Symposium
＜網膜・硝子体＞
＜緑内障＞
サブスペシャリティサンデー
＜前眼部疾患＞
前眼部疾患トリアージ：初期対応が超大事
見逃すな！円錐角膜
診療ガイドラインに基づいた感染性角膜炎の診療
＜緑内障・視神経症＞
緑内障検査の最前線
緑内障治療の最前線
視神経疾患の検査・治療の最前線
＜後眼部疾患＞
OCT/OCTA の基本所見と pit fall
IRD（網膜変性）の診断とマネジメント
糖尿病網膜症に対する治療戦略
＜小児眼科・眼腫瘍・視機能＞
眼表面の腫瘍性疾患の鑑別：一般眼科医と専門医の相違
小児の腫瘍性病変をどのように扱えばよいか
小児眼底疾患の検査法と鑑別疾患
スキルトランスファー
＜戦略企画会議第二委員会枠＞
＜近畿弱視斜視研究会＞レチノスコーピーの実技指導
その他

The International Crosstalk Symposium by Young Ophthalmologists, 一般講演, 学術展示, 専門医制度
講習会, オルソケラトロジー講習会, 屈折矯正手術講習会, 共催セミナー（モーニング, ランチョ

- ン、イブニング、フェアウェル)、(一社)日本眼科医療機器協会併設機器展示、市民公開講座
- 演題募集** 2024年10月1日(火)10:00~11月6日(水)正午
※演題募集詳細(募集要項、発表形式、言語など)については第129回日本眼科学会総会ホームページにてご確認をお願いいたします。
- 事前参加登録** 2024年10月1日(火)~2025年2月21日(金)(予定)
- 後期参加登録** 2025年2月下旬~2025年6月下旬(予定)
※今回の事前参加登録は、オンラインクレジットカード決済またはコンビニ決済でのオンライン登録のみです。郵便振替登録は行いませんのでご注意ください。
- 詳細は随時ホームページにて公開させていただきます。
- ホームページ** <https://www.congre.co.jp/129jos/index.html>
- 運営事務局** 株式会社コングレ
〒103-8276 東京都中央区日本橋3-10-5 オンワードパークビルディング
TEL: 03-3510-3701 FAX: 03-3510-3702
E-mail: 129jos@congre.co.jp

第255回O.C.C.

- 日時** 2024年11月9日(土)14:00~17:00
- 場所** 第二吉本ビルディング(大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエスト オフィスタワー8階)
- テーマ** みんなで考えよう!前眼部疾患
- 問合先** 大阪大学大学院医学系研究科眼科学教室
TEL: 06-6879-3456 FAX: 06-6879-3458

第22回近畿弱視斜視アフタヌーンセミナー

- 日時** 2025年2月15日(土)14:45~18:15
- 場所** 千里ライフサイエンスセンター 山村雄一記念ライフホール
(〒560-0082 豊中市新千里東町1-4-2)
- 開催形式** ハイブリッド開催(予定)
- プログラム** 講演
「軽度から中等度近視の後天共同性内斜視」稗田 牧(京府医大)
「『視覚はよみがえる—三次元のクオリアー』から考える両眼視訓練」
雲井弥生(淀川キリスト教病院)
「クリニックでの上下斜視」木村亜紀子(やさしい目のクリニック)
「“私はこう治療する”—会員による症例検討会(仮)」森本 壮(大阪大)
ワークショップ
「レチノスコピー」全メンバー(下記)
- 登録料** 医師3,000円、非医師1,000円
- 主催** 近畿弱視斜視研究会(遠藤高生、不二門尚、木村亜紀子、雲井弥生、初川嘉一、稗田 牧、増田明子、三宅三平、宮田 学、森本 壮、村木早苗、野村耕治、近江正俊、佐々本研二、下條裕史、白井久美、菅澤 淳、杉山能子、築留英之、内海 隆、横山 連)(以上21名・ABC順)、参天製薬株式会社
- 事務局** 森本 壮(大阪大)
- 問合先** 加藤大貴(参天製薬株式会社) Tel. 0120-310-106, E-mail: daiki.kato@santen.com